

こわかった台風二十三号

豊岡市立田鶴野小学校

六年 西本 剛

台風二十三号が豊岡にきたのは、平成十六年十月二十日でした。

朝七時の天気予報は見ていませんでした。風がきついなあと思います。ながらも同じように、集合場所の三柱神社に行きました。木がザワザワしていて、おと上を見ているとお母さんが集合場所まできて、警報がでているので自宅待機だということをお教えしてくれました。

夕方になるとふき荒れるような風と雨がふって来ました。防災無線を聞いていると、避難指示がだされました。お父さんの車だとかんたんに行けるけど、小さい方の車だと水がぎりぎりです。となりのおじいさんが避難した方がいいと言いにきてくれました。なので避難しました。車のライトが半分水につかっっていました。みぞから、マンホールから水

があふれ出していました。でも無事豊岡高校の体育館までたどりつきました。

「ちよっとお父さんに電話してくる。」

お母さんが公衆電話までいこうとした。その時、

「ガチャッ！」

電気がきれました。ぼくは、ライトをこらしめました。暗くなった時は、とてもこわかったです。ちよっからは、携帯電話が通じません。寒い中、食べ物もなく毛布にくるまりいつの間にかぬこしまいました。

次の朝、や、とパンが配られました。でも、二人に一つしかありませんでした。近くのスーパーまで食べ物を買に行きました。パンが五コぐらい残っていましたがおにぎりが弁当はありませんでした。その日の夕方、足まで水につかりながら家に帰りました。

この前の授業で、台風のことを思い出しました。ぼくは台風のこわさを改めて知りました。もう台風はきてほしくありません。